

(2/8) 第27回特別シンポジウムのご案内

ギガビット研究会では、アンテナ・高速回路・EMC の設計評価に関して、電磁界理論に基づく理解を目標に、今後必要な情報の高速化、デバイスの小型化、システムの低消費電力化を考慮し、情報・エネルギー・EV・医療/健康機器対応等の、主に近距離電磁界に関する課題をテーマに、新しい知見・情報を得ることと同時に 新たな共同研究テーマ探索のための特別シンポジウムを随時開催しております。

今回は、自然雑音として現象や対応への理解が難しい「雷放電及び静電気放電の実態とその技術課題」をテーマに取り上げ、横山 茂 先生と石田 武志 氏 お二人の専門家に、雷害様相と対策の現状と 対策手法の高度化のために必要な研究課題について、静電気放電現象の最近の研究動向等について ご講演を頂き、解決すべき課題を皆様と共有したいと存じます。質疑応答の時間も たっぷりと考慮しておりますので、是非奮ってご参加下さい。

【2/8 (金) 開催】ギガビット研究会 第27回特別シンポジウム 「雷放電及び静電気放電の実態とその技術課題」

日時 2019年2月8日(金) 13:25～17:30

場所 電気通信大学 創立80周年記念会館「リサーチ」3F

<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> (学内マップ「4」の建物)

プログラム

13:25～13:30	開会挨拶
13:30～15:15 (質疑15分含む)	『雷害対策の変遷と研究課題』 静岡大学 大学院総合科学技術研究科 客員教授 横山 茂 先生 (高度情報社会の進展と再生可能エネルギーの利用の拡大に伴い、雷害を被る新しい設備が増加しています。雷現象には、まだ多くの未解明事項がありますが、安全な社会の構築のため、合理的な雷害対策手法の確立が重要な課題です。本講演では、雷害様相と対策の現状と、対策手法の高度化のために必要な研究課題について解説します。)
15:15～15:30	休憩
15:30～17:15 (質疑15分含む)	『電子機器の静電気試験の課題と研究動向』 株式会社 ノイズ研究所 技術部 上席部長 石田 武志 氏 (電子機器の静電気放電に対する耐性試験は、国際規格で規定されていますが、多くの課題を含んでいます。特に試験再現性の改善は重要課題ですが、その要因は未知の部分も多く、さらなる研究が必要な状況となっています。静電気試験の課題を整理し、静電気放電現象の最近の研究動向を紹介します。)
17:15～17:30	全体討議 (全体通しての質疑、個別質問等)

参加費 法人会員・特別会員は無料、法人准会員は 28,600 円 (税込 30,888 円)

お申込み メールで、ギガビット研究会 gigabit@sangaku.uec.ac.jp 宛にご連絡ください。
会員の種別によりお申し込み方法が異なりますのでご注意ください。

<法人会員>

1. 会社名
 2. 所属
 3. 氏名
 4. メールアドレス等ご連絡先
- 以上4点をご連絡ください。

<特別会員>

1. 氏名
- 以上1点をご連絡ください。

<法人准会員>

1. 会社名
 2. 所属
 3. 氏名
 4. メールアドレス等ご連絡先
- 以上4点をご連絡後、参加申込書に必要事項を記入・捺印のうえ研究会宛にご郵送ください。

お問い合わせ先

〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1

国立大学法人電気通信大学 産学官連携センター ギガビット研究会

TEL : 042-443-5848 e-mail : gigabit@sangaku.uec.ac.jp